

宮陵会報 2018・12

Kyu-Ryo

No.107

発行責任者
 一般社団法人
 神奈川大学宮陵会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)
 FAX 045-413-0791
 印刷所 株式会社 江森印刷所

Contents No.107

「みなとみらいキャンパス新築工事起工式」・ 「30号館(仮称)新築工事の進捗」……………2	四国ブロック会紹介……………6
「箱根駅伝予選会」・「全日本大学駅伝対校 選手権大会」応援記……………3	女性会員の集い 浜松/バスツアー……………7
横浜/湘南ひらつかホームカミングデー・ 神大フェスタ・平塚祭報告……………4・5	宮陵会だより……………7
	箱根駅伝応援ガイド……………8

神奈川大学みなとみらいキャンパス 新築工事起工式・起工祝賀会

平成30年7月30日執り行なわれる

宮陵会誌第67号の記事「理事長あいさつ」で牧内良平理事長が述べられたとおり、今秋に着工された「みなとみらいキャンパス新築工事」の起工式が、本年7月30日(月)に行われ、大学関係者および設計・施工業者が出席し、工事の無事安全を祈願しました。その後行われた起工祝賀会には、大学関係者および設計・施工者の他に、横浜市、マスコミ関係者など約150名が出席され、宮陵会本部からも大場会長はじめ、副会長と専務理事が列席いたしました。

祝賀会では、牧内理事長が、「新キャンパスの起工に際し、本学の前身、横浜学院の目の前であるこの地に、このようなキャンパスを建てることができ、苦学された創立者の米田吉盛先生を思うと、非常に感慨深いものがあります。本学みなとみらいキャンパスは世界に開かれ、多くの国際企業、美術館、コンサートホール等の文化施



設に囲まれています。今後は、教育・研究はもちろん、地域連携、産学官連携にも力を入れていきたいと思えます」とご挨拶されました。

工事は順調に進んでおり、2020年度に竣工し、2021年4月に開校する予定です。

写真上 穿初の儀(鉤) 牧内良平理事長
写真右 みなとみらいキャンパス新築工事
仮囲いの様子
(文責:佐藤 武)

神奈川大学横浜キャンパス 30号館(仮称)新築工事の進捗について

宮陵会誌第67号の記事「横浜キャンパス30号館新築工事着工」で30号館(仮称)宮陵会館)新築工事の起工式について完成予想図とともにお知らせしましたが、現在の工事の進捗についてご報告いたします。



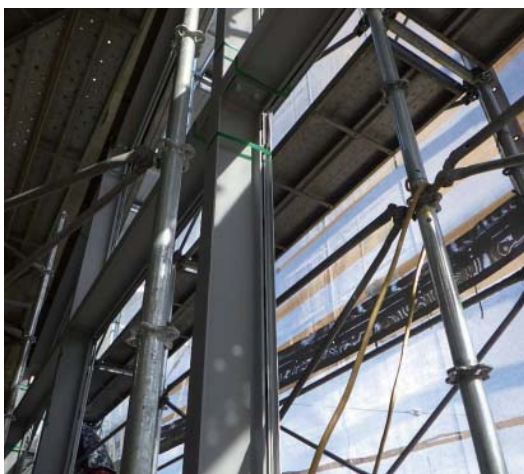
本年3月から本格的に始まった新築工事は、その後順調に進捗し、現在は骨組み全体が防護シートに覆われているため詳細は確認できませんが、写真から全体の規模はお分かりいただけるかと思えます。

館内には、宮陵会本部事務室のほかに、大小の会議室、多目的ラウンジ、ペビールームなどの部屋が用意され、各地域組織の皆様が大会議室を利用して総会を開催されることなども期待されております。

完成は2019(平成31)年3月を予定していますが、宮陵会館の利用方法等につきましては、準備が出来次第、宮陵会本部のHP等でお知らせする予定です。

写真右上 会館正面入口から
写真左上 上空からみた会館の全景
写真左 建物内部 スチールカーテンウォール取付

(文責:佐藤 武)



第95回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

見事3位で予選通過!!

第95回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）予選会が10月13日国営昭和記念公園で行われた。今回は距離変更により20kmからハーフマラソン（21.0975km）になりタフなレースだ。記念大会のため通常より1校多い11校が予選突破となる。参加全選手が一斉スタート、上位10人の合計タイムで争う。応援の重点ポイントはスタート地点とゴール2km手前。2km手前は選手にとって苦しい場所だが、最後のスパート地点であるため全員で応援して選手の背中を後押しする作戦だ。この場所では体育会サッカー部を中心に多数の学生が織

を持ち一列で大応援団を形成していた。神大選手は粘りの走りで次々に上位通過、見事なラストスパートであった。
レース後、大後監督は、厳しい指導に耐えた選手と主将の重責を負わせた山藤選手に労いの言葉を掛け、いよいよここからが本番、箱根まで更に緊張感を持って臨みたい、と決意を話された。我々卒業生もより力を合わせて応援したい。
(文責：永田 晴彦)



平成30年11月4日（日）午前8時5分スタートの各大学選手コールが始まった。前年度優勝チームであるわが母校のゼッケンナンバー1番をつけたエース山藤篤司選手が最初に呼ばれて笑顔で審判員のチェックを受ける。熱田神宮前の各大学応援ブースではすでに1時間前から応援合戦が繰り広げられている。今年は、神奈川大学チアリーディング部と管弦楽団による応援が華々しくデビューだ。昨年は、宮陵会の愛知みやも会や本部事業委員会や浜菊会のメンバーが、スタート地点から少し離れた場所でも熱烈な応援をして選手を激励した。今年も愛知みやも会の多湖会長はじめ本部から会田副会長、手塚理事、平出委員等多数の校友が参加され応援を繰り広げた。

秩父宮賜杯 第50回 全日本大学駅伝対校選手権大会を熱烈応援

庫前付近のタイヤ販売店駐車場には三重県宮陵会の岡田孝副会長（44歳）がご家族で応援に駆けつけてくれた。曇天の今にも降り出しそうな気配の中、持参されたテントを建てて雨に備える。三々五々に会員が家族連れで参集してきた頃には小雨模様となった。本部から持参した頑張れ神奈川大学の横断幕も雨を吸って重くなる。さらに、岡田副会長が持参された幟10本を全員で持つての応援である。KU帽子も雨に滴る中、神大選手が走り抜けていく。ひととき大きな声援が飛び選手を激励した。応援に駆けつけてくれた三重県校友の河崎義昭さん（51歳）は、根っからのランナーで湘南国際マラソンにも参加している一方、落語研究部に所属していた時からの芸名金銀亭と金で今も笑わせることに余念がないと



か。明るいご家族の応援の皆さまたちと横断幕のもとで記念集合写真を一枚。
応援第三ポイントの津市焼肉キング店付近へ移動する。熱田神宮応援支援から移動しての宮陵会の会田副会長及び手塚理事と平出委員が電車で先回りしてポイント確保。三重県宮陵会の林史昭会長（41歳）と本田進事務局長（48歳）がKU小旗に帽子で応援。四日市から移動してきた専務理事の平能達も合流して、雨で重くなった横断幕で応援。すべての選手が通過したあと、津駅前グリーンパーク津の交流会場へ向かった。中川洋久支配人（47歳）の配慮で、ホテル内の豪華な会場で大画面に映し出される8区越川堅太選手に大きな声援を送りつつ、参加された皆さんと交流することが出来た。8位以内のシード権を取らせたかったところであるが、こちらからの応援の声が届かず最終10位でゴールした。
(文責：平能 孝一)



第20回 「JINDAI FESTA」

11/3(土・祝)・4(日) 20歳のフェスタは、何かが違う。

昨年は、台風の接近により2日目が中止となった神大フェスタですが、今年は天候も大きく崩れることなく11月3日と4日の2日間にわたり、無事開催されました。今年は大学創立90周年記念、かつ第20回という大きな節目の年でもあり、実行委員会の学生達もかなり気合が入り頑張っている様子がうかがえました。来場者は2日で、約1万2千人となりました。ステージ企画やイベント、サークル・ゼミ発表、飲食模擬店では「グルメ大作戦」と銘打った人気投票も行われ、各会場とも大変な賑わいでした。

大場宮陵会会長が登場したのは「神大スター決定戦」の表彰式です。二連覇を狙うヒューマンビートボックスのグループや、



ダンスチーム、チアリーディング部「WINGS」などの強豪を抑えて優勝したのは「ジャーマンボーイズ」の3人組。甲乙付け難い素晴らしいパフォーマンスが繰り広げられる中、客席からの応援を力に、チューバとサクソによる楽しい歌と演奏で接戦を制し、賞金10万円の栄冠に輝きました。

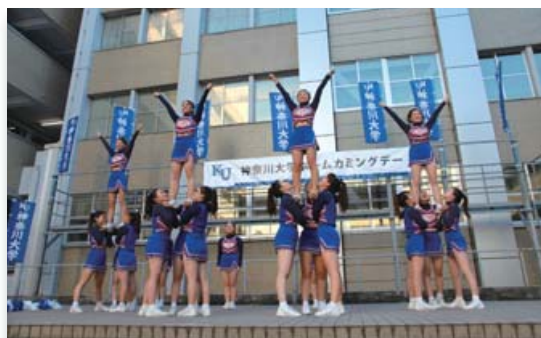
2日間にわたり様々な企画で盛り上がった神大フェスタは、無事幕を下ろしました。宮陵会では、本館前に「卒業生憩いのコーナー」を設けており、今年も多くの方々にお立ち寄りいただきました。来年もまた、神大フェスタでお会いしましょう。



YOKOHAMA CAMPUS

創立90周年記念 第24回 ホームカミングデー

10/7(日) am. 10:00~



10月7日(日)に、神奈川大学創立90周年記念第24回神奈川大学ホームカミングデーが横浜キャンパスで開催されました。当日の気温が30℃を超えるとても暑い中1,568名の方々にご参加いただきました。

今年度は神奈川大学創立90周年を記念して、神奈川大学名誉教授 諸田 實氏をはじめとした4名の方の感謝表彰が行われたほか、和光太鼓や本学チアリーディング部などによるパフォーマンス、昨年大好評だった横浜商科大学商学部教授 小林二三夫氏(昭和48年貿易卒)による特別講演の第2弾『もしもに備えるエンディングノート

を書きましょう(上級編)』など、盛りだくさんのイベントで会場が盛り上がりました。

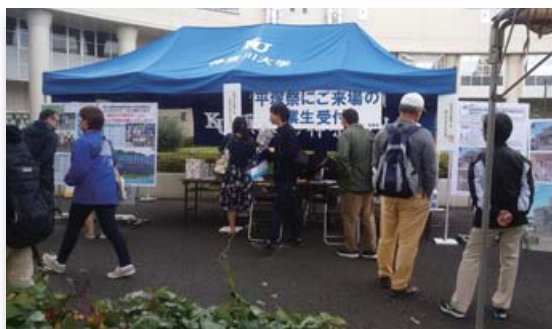
また、卒業生による卒業生のための企画(弁護士による法律相談、社労士による労務相談、建築士による新築、リフォーム・建替え相談、地方卒業生の物産販売等)や、課外活動全般に対する応援フラッグの寄せ書き、お子様向けのウォークラリーやボルダリング体験、理科工作、お菓子のつかみ取りなどの企画を実施いたしました。卒業後20年未満の参加者も増えてきております。今年度お越しいただいた方もそうでない方も、来年度のホームカミングデーにぜひ足をお運びください。



第30回 平塚祭『色彩』をテーマに開催 10/27(土)・28(日)

創立 90 周年記念第 30 回平塚祭が「色彩」をテーマに、10月27日(土)・28日(日)の2日間、湘南ひらつかキャンパスで開催されました。約100名の卒業生や来年度の受験生とそのご家族も参加して賑わいました。

例年通り、メインステージでは、笑 TIME や Dai-M、JAZZ 研究会、アンブラグド music による発表が行われました。1号館では各サークルによる企画、実行委員による子供向けのイベント、受験生のための入試相談会も実施されました。理学部によるオープンラボでは研究室の公開、



研究紹介などが行われました。また、創立 90 周年記念として開催されたスター決定戦、俳優トークショーは会場が満員となる大盛況でした。

28日はホームカミングデーも開催されたため、宮陵会のブースにも多数の卒業生が訪れ、先日行われた箱根駅伝予選会のテレビ放映録画や宮陵会館建設の現状・完成予想図のパネル等を熱心に見ていました。キャンパス内では36店の模擬店が出店し、味を競い合っていました。中でも農業サークル K.A.S の模擬店は、自分たちがキャンパス内の畑で育てた野菜の直売や、収穫したサツマイモを使って焼き芋の販売を行っており、多くのお客さんと賑わっていました。

第26回 ホームカミングデー開催される 10/28(日) pm. 13:00~



湘南ひらつかキャンパス第26回ホームカミングデーが10月28日(日)午後1時より絶好の天候のもと行われました。当日は平塚祭も開催され、沢山のOB・OGとその家族が参加しました。冒頭、神奈川大学の校歌斉唱に始まり、経営学部長の大橋 哲先生からホームカミングデーに参加された皆様に対する御礼と平塚の経営学部が2021年に平塚から横浜のみなとみらいに、国際経営学部に学部変更して移転することが決まり、今年の新入生は4年次に横浜に移転するなどの説明がありました。次に、理学部長の山口和夫先生から理学部も2023年に横浜六角橋キャンパスに移転する旨の説明がありました。

続いて乾杯の挨拶を宮陵会の会田 彰副会長が行い、宮陵会の現状や会費の納入のお願い、同窓生が集う宮陵会館が来年3月に竣工すること、箱根駅伝の沿道での応援のお願いなどをお話しし、乾杯後歓談会に入りました。参加の皆さんからは、みなとみらいへの移転には喜びと期待がある反面、平塚が無くなることへの不安の声がありました。JAZZ研究会の演奏で和やかな雰囲気でお話を深めることができました。

その後ビンゴゲームが開催され盛り上がりの中でホームカミングデーは終了しました。





宮陵会 四国ブロック会が開催される

平成30年11月17日 於ホテルグランドパレス(徳島)

平成30年11月17日宮陵会四国ブロック会
が、徳島県宮陵会の幹事のもと徳島市のホ
テルグランドパレスで14時20分から43名が
参加して開催されました。当日は快晴のも
と四国4県の宮陵会地域組織の会長をはじめ、
大学からは勇真一郎理事長付審議役、
宮陵会本部からは春原正三郎副会長が参加
して盛大に行われました。

が承認された後、徳島県宮陵会出席者29名
が自己紹介を行いました。

徳島県以外の会員が会場に揃ったところ
でブロック会が始まり、徳島県宮陵会島田
武仁会長の挨拶に続き、来賓として勇審議
役から神奈川大学牧内良平理事長の挨拶文
を代読した後、みなとみらいキャンパスの
概要を中心に大学の現状の説明と神奈川大
学創立100周年記念募金・米田吉盛教育奨学
金募金等のお願がありました。次に春原
副会長が、宮陵会80周年の歩みや祝賀会の
様子・宮陵会組織の現状・宮陵会館の工事
状況等の説明、宮陵会費納入のお願いを話
されました。

続いて四国4県の会長が活動を報告し、
各地域組織が行っている催し物や学生への
応援活動等を紹介しました。最後に次
回ブロック会の幹事を愛媛県宮陵会に決定
してブロック会が終了しました。

引き続き四国ブロック会記念講演会が開
かれ、神奈川大学工学部建築学科 荻本孝久
教授が「西日本を襲う大規模災害に対する
心構え〜連鎖する複合災害への備え〜」と
題して話されました。参加者は、四国沖の
南海トラフで発生する可能性が高い巨大地
震について日頃から心配していますので熱
心に聞き入っていました。

参加者全員で記念撮影を済ませ懇親会が

始まりました。余興として徳島県宮陵会藤
井薫氏(昭48経卒)の計らいで、「つきよ連」
34名による阿波踊りが披露された後全員で
阿波踊りを踊り、大いに盛り上がりました。
懇親会は万歳三唱で盛会のうちにお開きに
なりました。

地域組織の 会長に聞く

生や女性の参加を促進する事例の紹介。
(文責：内藤 正久)

四国4県の地域組織の会長
に「ブロック会に期待するこ
と」をお聞きしました。

- 大学や宮陵会本部から出席
された来賓からの最新の情報
提供。
- 各地域組織が工夫して行っ
ている催し物等の情報交換。特に若い卒業
生や女性の参加を促進する事例の紹介。

四国の地域組織会長



愛媛県宮陵会会長
八木 健治(昭50年経卒)



徳島県宮陵会会長
島田 武仁(昭45年法卒)



高知県宮陵会前会長
渡辺 範男(昭46年建卒)



香川県宮陵会会長
中村 郁夫(昭50年買卒)



女性会員の集い「浜松バスツアー」 名刹探訪と精進料理を堪能



平成30年8月29日女性会員の集い「浜松バスツアー」を、総勢16名で実施いたしました。

当日は天候にも恵まれ、浜松駅で集合しバスに。車中で宮陵会会久米専務理事、静岡西部宮陵会中村会長よりご挨拶をいただいた後、渡辺委員長よりスケジューラの説明、参加者の自己紹介などを行い、臨済宗大本山奥山方広寺に到着しました。方広寺は、井伊直政の実母の出身である奥山家ゆかりの名刹です。

バスを降りると、奥山の深い緑に包まれた壮大な景色に圧倒されます。そしてお腹もすいたところで精進料理をいただき

きました。食前には「食事五観」を唱え、感謝の心でいただきます。特にお料理の中のうちなきはとても美味しくて、うちなきにしか思えないと皆さんの話題でした。実は、山芋・蓮根・海苔でした。

自由見学の後、龍潭寺に移動しました。井伊家菩提寺として有名な龍潭寺、大河ドラマの名シーンが思い出されます。本学卒業生（S53機械科卒武藤明彦様）のご任職が説明しながら案内してくださいました。遠州最大の大仏様、左甚五郎作と伝わる一刀彫の龍、鶯張りの廊下、井伊家4代のお位牌が祀られ、茶器、槍、太刀など貴重な文化財が残されていて、まさに井伊家千年の歴史を今に残す古刹に感動いたしました。国指定名勝の庭園に向かつて座ると、思わず時を忘れてしまいそうになります。歴史を抱いたゆるやかな時の流れに、心穏やかなひと時を過ごしました。また、ご神木なきの木（樹齢400年）では、千切ろうとしても切れない葉を大切な人との縁が切れない、と拾われる方も多かったようです。

その後、うなぎパイファクトリーで買い物をお楽しみいただいた後、車中で宮陵会中間副会長よりご挨拶を頂戴して、バスは一路浜松駅に向かいました。アンケートにご記入いただき記念品をお渡しし終える頃には、バスは浜松駅に近づいてまいりました。次回の女性会員の集いでお目にかかれるのを楽しみに、笑顔でご挨拶し合っただけの解散となりました。
(文責：庄子 さち子)

会誌「宮陵」No. 68への 企業広告掲載のご案内

平成31年4月下旬発行の会誌「宮陵」に掲載する企業広告を募集しております。「宮陵」は全国の正会員（約60,000名）に発送されます。

■料金表		(単位:円)		
	1頁	1/2頁	1/3頁	
表4 [カラー]	80,000	50,000	-	
表3 [カラー]	60,000	40,000	-	
本誌内 [白 黒]	50,000	30,000	20,000	

*掲載広告の版下(データ)で入稿していただきます。

■お申し込み方法
宮陵会事務局宛にご連絡ください。申込書等をお送りいたします。お申し込みの締め切りは平成31年2月中旬予定です。

■お申し込みの内容によってはご希望にそえない場合もございます。

宮陵会だより

■会議予定

理事会 平成31年2月2日(土)
3月2日(土)

■地域組織(地域)総会開催予定

平成31年1月3日(木)	香川県宮陵会
1月27日(日)	平塚市宮陵会
2月23日(土)	磯子区宮陵会
3月9日(土)	熊本県宮陵会
	岡山県宮陵会
	川崎市宮陵会(再建)

■地域組織名称変更

変更前名称 神奈川大学工学部応用化学科
同窓会
変更後名称 神奈川大学工学部応用化学科
物質生命化学科同窓会

■新地域組織代表者紹介

山形県宮陵会	昭47電	吉野	徹
新潟県宮陵会	昭48経	小熊	正志
石川県宮陵会	昭47法	山本	正芳
千葉県宮陵会	昭55英	立花	久稔
兵庫県宮陵会	昭48賞	和田	志朗
鳥取県宮陵会	昭49法	成岡	文明
高知県宮陵会	昭56法	岩田	祐輔
社労士宮陵会	昭55法	渡部健二朗	
バスケットボール部OB会	昭40経	高橋三樹夫	
硬式野球部OB会	昭20機	熊谷貞彦	
自動車工学研究部OB会		射場亮輔	

■叙勲

平成30年春の叙勲	昭31経	遠山	詠一
「旭日双光章」	昭45法	城納	一昭
「瑞宝中綬章」	昭46法	羽田	慎司
「瑞宝中綬章」			
平成30年秋の叙勲	昭45賞	八木	秀夫
「旭日単光章」	昭53機	出雲	正樹
平成30年秋の褒章			
「黄綬褒章」			

■訃報

謹んでお悔やみ申しあげます
倉増 俊行殿(昭29経)
平成30年8月17日 元函館宮陵会会長
飯田 武爾殿(昭36法)
平成30年11月8日 元理事

■冬季一斉休業期

平成30年12月28日(金)～平成31年1月6日(日)
事務局よりお願い
登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

① 神奈川大学ホームページ

卒業生のひろば
(http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/)
↓卒業生情報登録・変更のご案内
② FAX 045-413-0791

③ E-mail: kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

*登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報的重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めています。

第95回 東京箱根間往復大学駅伝競走応援ガイド 1月2・3日

のぼりを持って一緒に熱い声援を送ろう!!

沿道での応援について

- ◎ 有志応援に参加して下さる方は、各区間に設定した応援ポイントで一緒に応援してください。各応援ポイントは大学ののぼりが目印です。
- ◎ 各応援ポイントには通過予定時刻を記載してあります。参考にしてください。
★は重点応援ポイントです。
- ◎ 沿道での応援には、選手通過予定の1時間以上前からの応援禁止等、様々な制約があります。当日は必ず大会スタッフの指示に従ってください。
- ◎ スタート地点、ゴール地点にて、チアリーディングと管弦楽団による応援活動を行います。

往路	第1区	大手町→鶴見 (21.3 km)
	第2区	鶴見→戸塚 (23.1 km)
	第3区	戸塚→平塚 (21.4 km)
	第4区	平塚→小田原 (20.9 km)
	第5区	小田原→箱根 (20.8 km)
復路	第6区	箱根→小田原 (20.8 km)
	第7区	小田原→平塚 (21.3 km)
	第8区	平塚→戸塚 (21.4 km)
	第9区	戸塚→鶴見 (23.1 km)
	第10区	鶴見→大手町 (23.0 km)

東京大手町・読売新聞社前

往路スタート予定時間
8:00
復路ゴール予定時間
13:30

鶴見中継所 鶴見市場交番前

予定時間
往路 / **9:03**
復路 / **12:18**

戸塚中継所 古谷商事前

予定時間
往路 / **10:11**
復路 / **11:08**

小田原中継所 鈴廣前

予定時間
往路 / **12:18**
復路 / **8:58**

平塚中継所 花水レストハウス前

予定時間
往路 / **11:14**
復路 / **10:04**

箱根・芦ノ湖 入口駐車場前

往路ゴール予定時間
13:33
復路スタート予定時間
8:00



皆さんの応援が選手たちの熱い力になります!!
ご声援宜しくお願いします!!



神奈川大学駅伝サイト Access!!
<http://ekiden.kanagawa-u.ac.jp/>

上記 URL にアクセスしてください。
当日、選手の速報をお伝えします。

応援マナーを守りましょう!

- ・ 脚立を使つての応援は危険です。
- ・ ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、のぼり等をくくりつけることはできません。
- ・ 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
- ・ 混雑緩和と、応援の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後 100m 以内では、出場校を示す物は掲出できません。
例) 校旗、部旗、その他、大学を標する横幕、旗、大学新聞の配布等。
- ・ 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
- ・ ペットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
- ・ 選手は歩道ギリギリを走ってきますので、歩道から手や身体を乗り出している応援は危険です。
- ・ コース周辺の無人飛行機 (ラジコン・ドローン) の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。

禁止事項

